

【現行計画の成果指標、進捗状況と評価】

【環境目標1】 市民協働による環境づくりと 快適な都市環境が実現しているまち	1-1	水と緑のうらおいのあるまちをつくらう	基本目標
	1-2	安全で快適に通行できるまちにしよう	
	1-3	歴史・文化にふれる美しいまちにしよう	
	1-4	環境教育・環境学習に取り組もう	
	1-5	協働して環境保全に取り組もう	
【環境目標2】 豊かな自然環境の保全と共生が実現しているまち	2-1	豊かな自然環境を守り育てよう	基本目標
	2-2	多様な生きもののつながりを大切にしよう	
	2-3	自然とふれあい親しもう	
【環境目標3】 賢い選択による低炭素化と地球にやさしい活動が 実現しているまち	3-1	暮らしと産業の低炭素化に取り組もう	基本目標
	3-2	低炭素型まちづくりを進めよう	
	3-3	気候変動への適応策を進めよう	
【環境目標4】 安全な生活環境と循環型社会が実現しているまち	4-1	きれいな水環境、健全な水循環に使用	基本目標
	4-2	ごみの減量化と資源化に取り組もう	
	4-3	安全で快適な生活環境を守ろう	
	4-4	減災と環境被害防止に取り組もう	

環境目標	基本目標	項目	単位	経年結果											評価	次期計画の方針
				平成27年 2015年	平成28年 2016年	平成29年 2017年	平成30年 2018年	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年	令和5年 2023年	目標値 (2025年度)			
環境目標1	1-1	公園・緑地の整備や緑化推進の満足度	%	40.8	-	25.2	-	34.9	-	-	-	-	50	B	継続	
	1-2	ごみのポイ捨て数(調査地点6か所の平均値)	個	106	107	112	113	102	75	76	94	93	90	B	継続	
	1-3	屋外広告物モデル地区指定数	地区	1	4	4	8	12	12	12	12	12	8	A	継続	
		景観形成重点地区指定数	地区	4	4	4	8	12	12	12	12	12	8	A	継続	
		地区計画決定地区数	地区	19	19	19	19	19	19	20	21	21	32	C	終了	
		街並み修景助成事業の実施状況	件	26	26	28	29	29	31	31	31	32	33	B	継続	
		文化財の親しみ度	人	83,145	89,270	89,736	85,107	81,368	42,861	23,297	67,051	93,131	82,000	A	終了	
		史跡指定地の増加と整備事業の推進	か所	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	A	継続	
		文化振興・歴史保存活用の満足度	%	32.0	33.0	33.0	35.5	36.0	-	-	36.0	37.0	40	A	終了	
		文化活動を行う市民の割合	%	-	-	62.4	-	57.3	57.3	41.7	41.7	57.5	65	B	継続	
	1-4	地域環境教室の年間参加者数	人	-	-	-	-	-	4,453	5,096	11,695	9,950	16,000	B	継続	
		めだかの学校環境講座の年間参加者数	人	4,457	3,364	2,132	1,700	2,169	120	161	189	257	2,500	C	継続	
		わくわく体験促進事業・親子環境学習サマースクールによる自然体験や環境への理解の深まり度(上段:教育委員会、下段:地域子育て支援課)	%	80.0	72.0	100.0	100.0	93.0	-	-	-	100.0	85	A	継続	
		自然体験リーダー養成講座修了者の自然体験リーダーズクラブ登録者数	人	176	181	187	191	192	200	201	205	208	205	B	継続	
		公民館で開催される環境学習講座の数	講座	126	127	127	125	109	96	114	144	130	120(140)	A	継続	
エコ公民館 取組数		館	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	S	終了	
おかやまエコミュージアム(地域まるごと博物館)への参加人数		人	220	237	263	286	330	181	173	227	208	300	C	終了		
全小学校区におけるESDの実施率		%	100.0	100.0	100.0	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100	S	継続	
ESDプロジェクトの参加組織数		組織	246	246	274	288	307	323	341	360	381	370(300)	S	継続		
1-5		市役所の事務事業から発生する温室効果ガス排出量をはじめとする環境負荷の低減														
	1) コピー用紙使用量(小学校・中学校・高等学校を除く)	%	H26年度比 0.4%減少	H27年度比 0.2%減少	H28年度比 0.01%増加	H29年度比 0.01%増加	H25年度比 14.5%削減	H25年度比 16.2%削減	H25年度比 19.8%削減	H25年度比 19.8%削減	H25年度比 19.8%削減	R2年度目標 53,236千枚	A	終了		
	2) 電気使用量	%										R2年度目標 109,875千kWh	C	継続		
	3) ガソリン使用量	%										R2年度目標 529k	A	継続		
	愛の泉善行賞の表彰数	件	12	8	16	21	12	14	22	15	11	25(20)	C	継続		
	環境パートナーシップ事業に参加する市民の割合	%	5.8	6.8	6.5	7.2	7.9	8.7	9.1	7.2	7.1	10	B	継続		
	環境パートナーシップ事業に参加する事業所の数	事業所	555	564	643	831	946	1,292	1,531	941	827	1,500	C	継続		
	用品特別会計におけるグリーン購入達成率	%	-	-	97.2	97.2	96.1	97.6	96.5	97.3	97.7	98	B	継続		
環境目標2	2-1	農業用水路の浚渫・藻刈を実施する地元組織数	組織	157	157	157	143	156	153	150	150	155	158	A	継続	
		リフレッシュ瀬戸内(海岸清掃)の参加者数	人	150	150	150	150	-	-	-	-	107	230	B	継続	
		森林や原野の割合	%	44.7	44.7	44.7	44.7	44.7	44.7	44.7	44.2	44.2	44%台 (現状値を維持)	A	継続	
		エコファーマーの認定者数	戸	109	105	92	88	79	76	59	48	42	300	C	継続	
	2-2	アユモドキの実態調査対象地域の拡大	生息地	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	賞田地域(西)	生息地	生息地	他地域への拡大 (賞田地域周辺まで拡大)	A	継続
		ホテルの生息地	か所	200	200	191	191	207	17	17	17	17	18	B	継続	
		倉安川における自然石護岸の整備事業進捗率	%	68.7	69.5	70.5	71.3	99.0	99.0	99.0	99.0	99.0	100	B	継続	
2-3	身近な生きものの里認定地区数	地区	14	14	16	16	17	21	23	25	27	25	A	継続		
	地域環境教室の年間参加者数(再掲)	地区	5	6	8	9	15	4,453	5,096	11,695	9,950	16,000	B	継続		
	自然体験・文化伝承に関する公民館講座数	講座	29	32	32	27	57	20	62	93	86	50	S	継続		
環境目標3	3-1	市内の太陽光発電システム設置容量	千kW	16,719件	23,453件	24,504件	25,989件	27,292件	314	325	337	359	413	A	継続	
		市民共同発電所の箇所数	件	5	7	8	8	8	7	7	8	8	15	C	終了	
		地球温暖化防止行動の実践度(市民意識調査)	点	54.2	46.4	50.3	-	49.3	49.3	56.1	-	56.5	60%	B	継続	
	3-2	ライトダウンキャンペーン期間中に市域で削減するCO2量	kg-CO2	1,474	3,324	3,431	2,145	2,500	13,995	7,715	20,413	21,239	2,500	S	継続	
		市有施設への太陽光発電システム設置件数(累計)	件	81	94	99	103	109	113	118	122	130	130	A	継続	
		JR岡山駅1日あたりの乗降客数	万人	13.2	13.4	13.7	13.7	13.9	-	9.8	11.9	13.1	15.2	C	新規	
		公共の電気自動車充電設備の設置基数	基	13	13	13	13	16	16	13	12	14	20	C	継続	
環境目標4	4-1	児島湖の水質(COD)	mg/l	7.2	8.0	7.8	8.8	7.7	8.1	8.2	8.1	8.6	5.0	C	継続	
		海域の水質(COD)	達成率	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	1/3	3/3	C	継続	
		汚水処理人口普及率	%	80.9	集計中	82.8	83.7	84.2	84.7	85.2	85.6	86.1	90	B	継続	
		浄化用水導用量	千t/l	200	200	200	200	200	200	200	200	300	200	A	継続	
		水路内緑化施設の整備箇所	か所	3	3	3	3	3	3	3	3	3	5	B	終了	
		事業場排水等の監視	事業所	404	392	374	430	334	312	322	309	330	400	B	継続	
	4-2	市民1人1日あたりのごみ排出量	g/人日	853	841	821	-	821	842	821	810	789	754	A	継続	
		家庭系ごみの排出原単位	g/人日	515	499	486	-	486	493	497	493	481	450	A	継続	
		事業系ごみの排出原単位	g/人日	338	342	335	-	335	349	324	318	309	304	A	継続	
		資源化率	%	22.59 (見込み)	27.15	29.20	-	27.68	27.39	-	29.89	26.88	31.1	B	継続	
4-3	埋立処分率	%	3.66 (見込み)	2.82	2.88	-	3.98	3.79	-	3.28	2.66	3.30	A	継続		
	建設廃棄物の再利用率	%	99.0	99.6	99.9	100.0	98.0	97.7	94.7	88.1	98.4	96.00	B	継続		
	建設発生土の利用率	%	95.0	97.9	95.7	97.2	95.9	95.5	97.7	100.0	99.0	85.00	S	継続		
	東部・西部リサイクルプラザ来場者数	人	32111	30531	31467	30786	38,587	26,743	24,225	30,187	39,780	60,000	C	継続		
	ごみゼロ週間に公民館で開催する関連講座への参加者数	人	3,365	3,294	3,404	4,324	3,901	1,490	1,426	4,951	2,668	4,500	B	継続		
	有害大気汚染物質の環境基準	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100	A	継続	
	ダイオキシン類の環境基準	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100	A	継続	
	騒音の環境基準	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	83.3	100.0	75.0	100	B	継続		
	道路騒音・振動	%	100.0	99.3	98.2	98.1	100.0	-	98.3	80.0	100.0	100.0	100.0	B	継続	
	※ R2まで道路騒音、道路振動と区分していたが、以降「道路騒音・振動」とまとめて表記。 (上段:道路騒音(R1まで)、下段:道路振動(R1まで))	%	100.0	97.9	100.0	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	
大気汚染防止法の規制工場・事業場に対する立入検査実施率	%	10.0	14.0	10.7	8.9	18.0	12.7	10.4	12.1	10.9	50	C	継続			
アスベスト飛散防止対策	%	-	-	-	-	-	-	80.5	84.8	88.6	100.0	100	A	継続		
化学物質に対するリスクコミュニケーションに取り組む工場・事業場	事業所	0	1	4	4	3	0	0	3	3	6	C	終了			
ダイオキシン類対策特別措置法の規制工場・事業場に対する立入検査実施率	%	47.0	41.2	13.3	23.5	52.0	31.0	42.3	38.5	32.0	50	C	終了			
有害物質使用特定施設への立入調査達成率	%	-	-	-	-	-	45.0	49.0	77.0	111.0	100	A	継続			
土壌汚染対策法に基づく工事工程ごとの立入調査数の割合	%	-	-	-	-	-	150.0	127.0	133.0	133.0	100	A	継続			
浸水対策実施済み割合	%	78.0	78.0	39.0	43.0	46.0	46.0	46.0	46.0	47.0	(100)	A	継続			
グリーンプロジェクション	1	まちなかのホテルの生息地	か所	14	14	14	-	15	5	5	5	5	6か所	B	継続	
	2	岡山ESDプロジェクト参加団体によるワークショップの開催件数	件	-	-	-	-	-	30 (R元年度)	21	24	31	36件	B	継続	
	3	身近な生きものの里認定地区数	地区	-	-	-	-	-	-	23	25	27	25地区	S	継続	

※「項目」および「経年の結果」は年次白書より、「評価」および「次期計画の方針」は市の「進捗状況調査」結果より抽出
 ※薄オレンジ網掛けは単位が異なる結果
 ※「目標値」の赤字は、「進捗状況調査」の記載内容で年次白書の目標値と異なるもの